

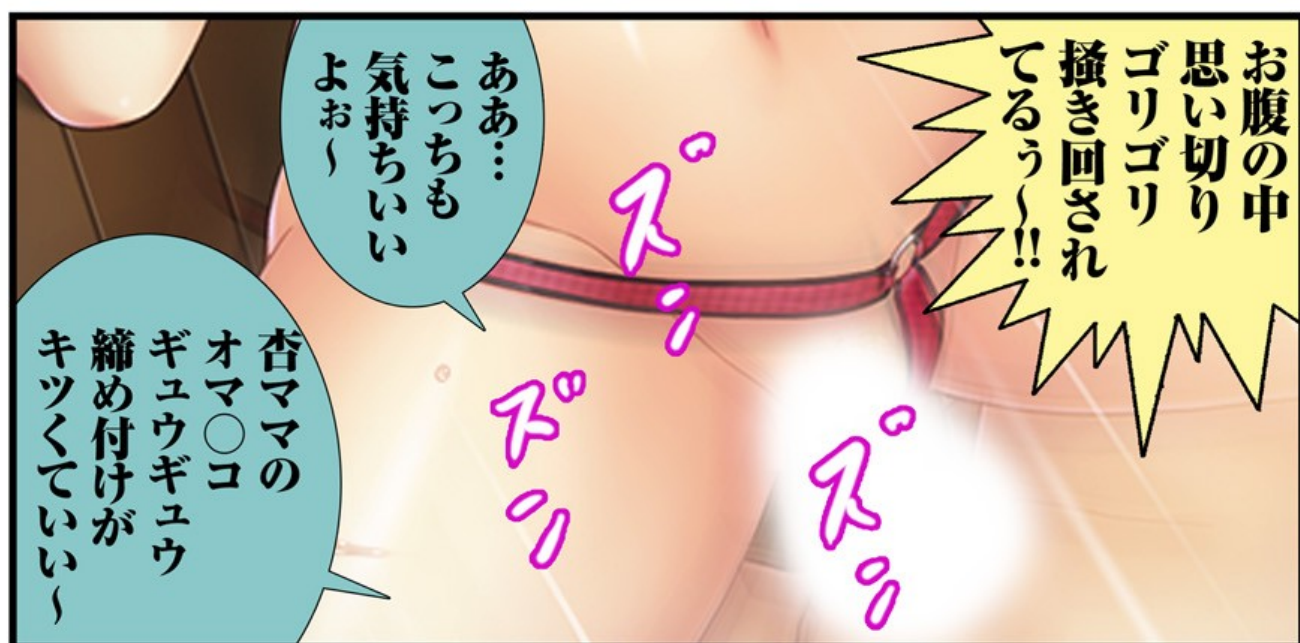


同級生の ママ達は 僕のモノ

マザコンキモオタ男のモテ期

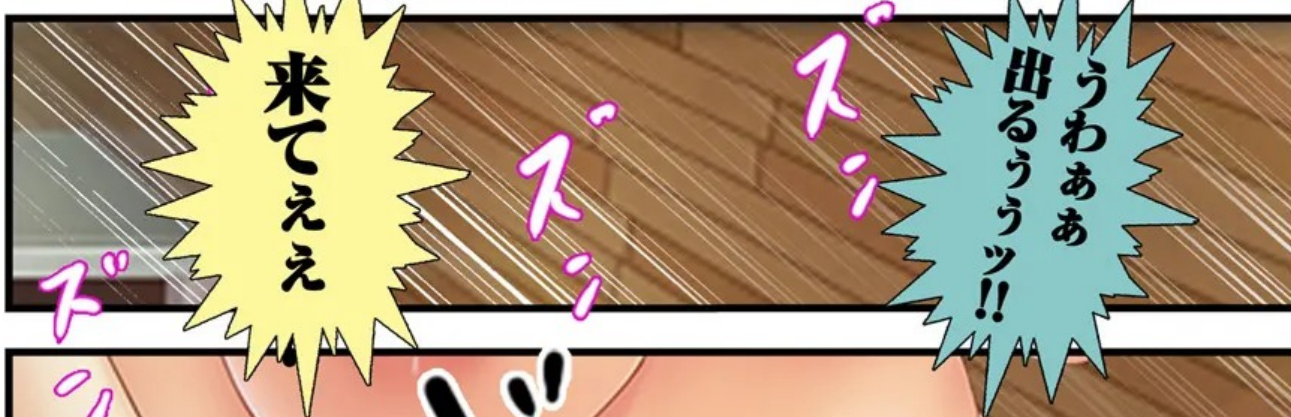
Miel/KEWS

③













オマ○コの
奥の壁に
まーくんの
オチ○ポが
届いてるう

めっちゃーいい

あ...
届いたあ...

はあ
はあ

ああー
すごいー!!



はあ
はあ

はあ
はあ

はあ
はあ

ズン
ズン

ズン
ズン

まーくんの
オチ○ポで
オマ○コの中が
思いきり
広げられてるー

こんなに子宮口
ゴンゴン突けるの
まーくんの
オチ○ポだけよッ!!

ああー
いいー



はい：
彩香ママ!!

そうよお
突いてえゝ
もつと突いてえ

もつともつと
もつとお
オチ○ポ
ちようだあ
ゝゝゝい!!

こうですか?
こうですかあ!?

その凶暴な
オチ○ポで
オマ○コ
突いてえゝ!!



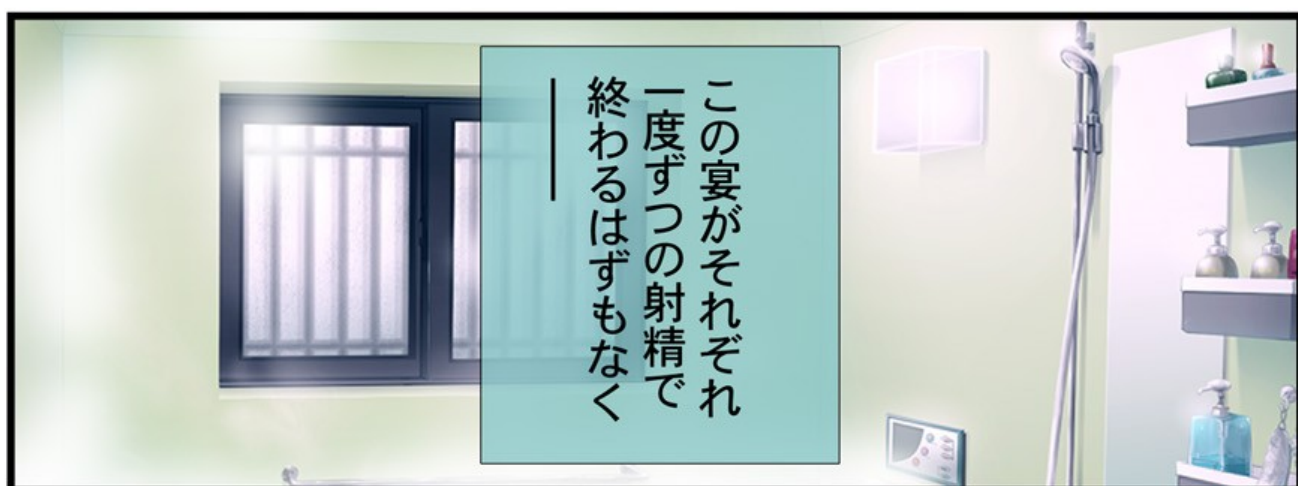
開いた子宮口
ガンガン
突かれてるう!!

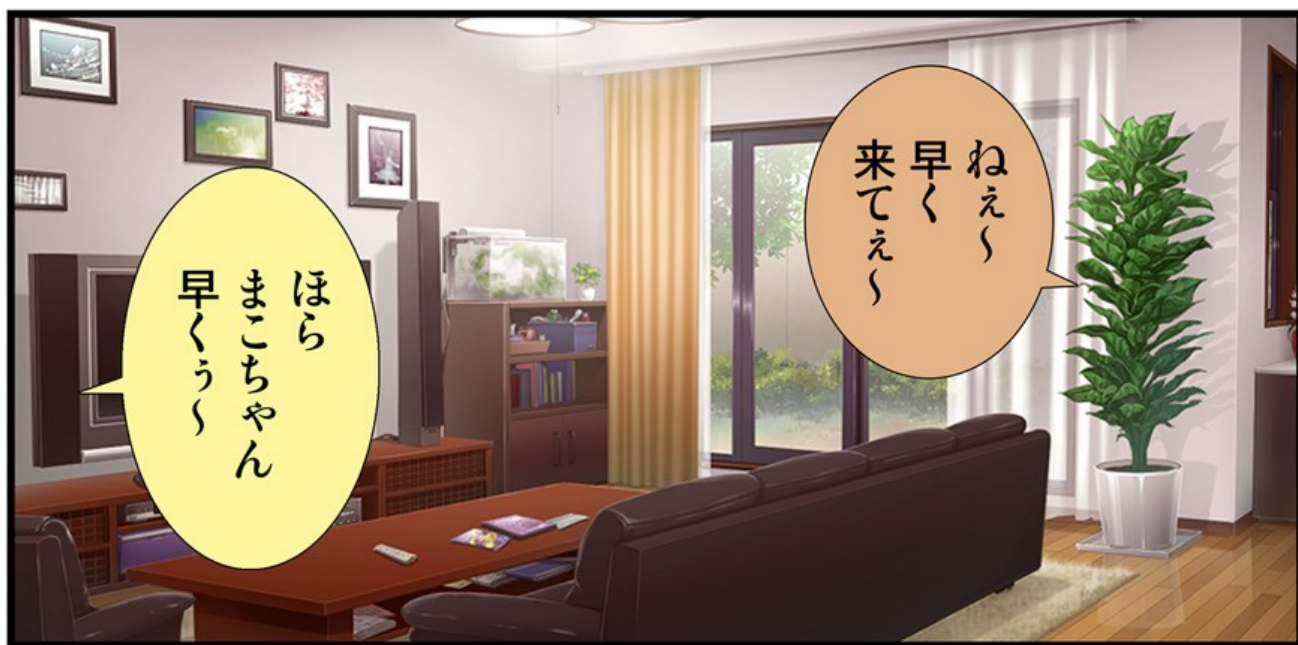
こんなこと
できるの
まーくんの
オチ○ポだけ
だよお!!

凄すぎる
うゝ!!

はひいゝ!!
ひいゝ!!











ああん！

次ッまた
杏ママ！！



はアーン

次ッ
彩香
ママ！！



あひん
またイクう

もう何度
イツたか
わからない
ひい〜ん

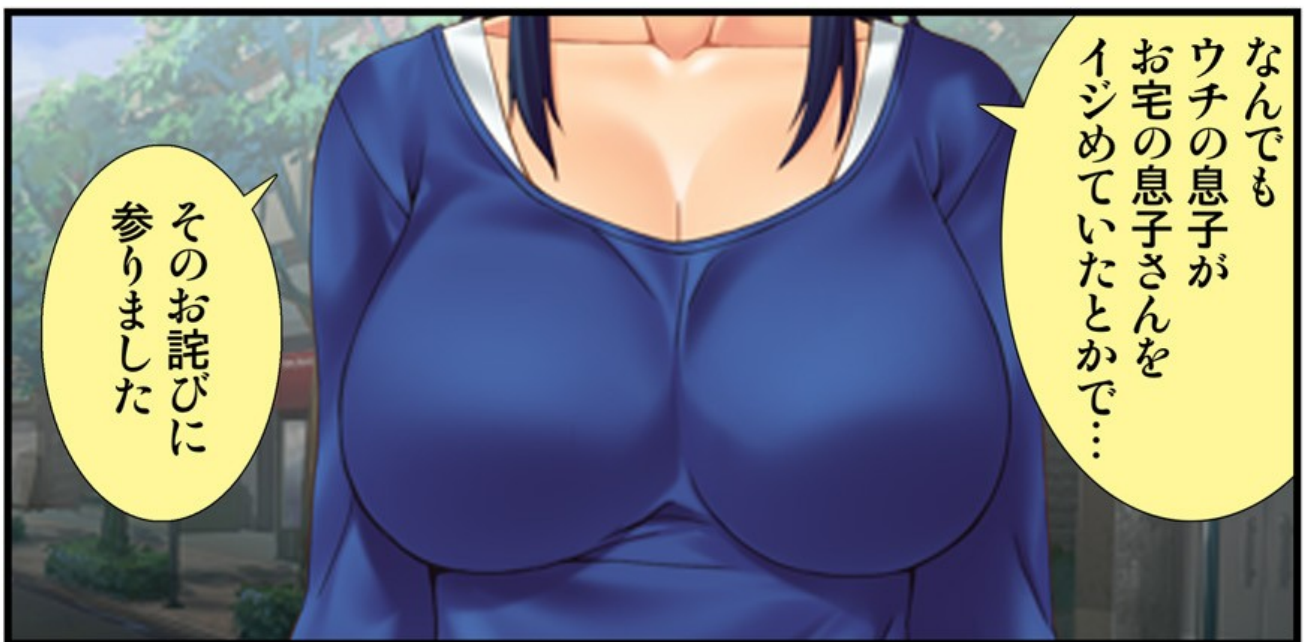


あ…また
出るう…

二人の顔に
たっぷり
かけてえー!!

三人の宴は
いつ果てるでもなく
体力の続く限り
ずっと続いた

気がつけば部屋中
汗と愛液の臭いで
充満していた――



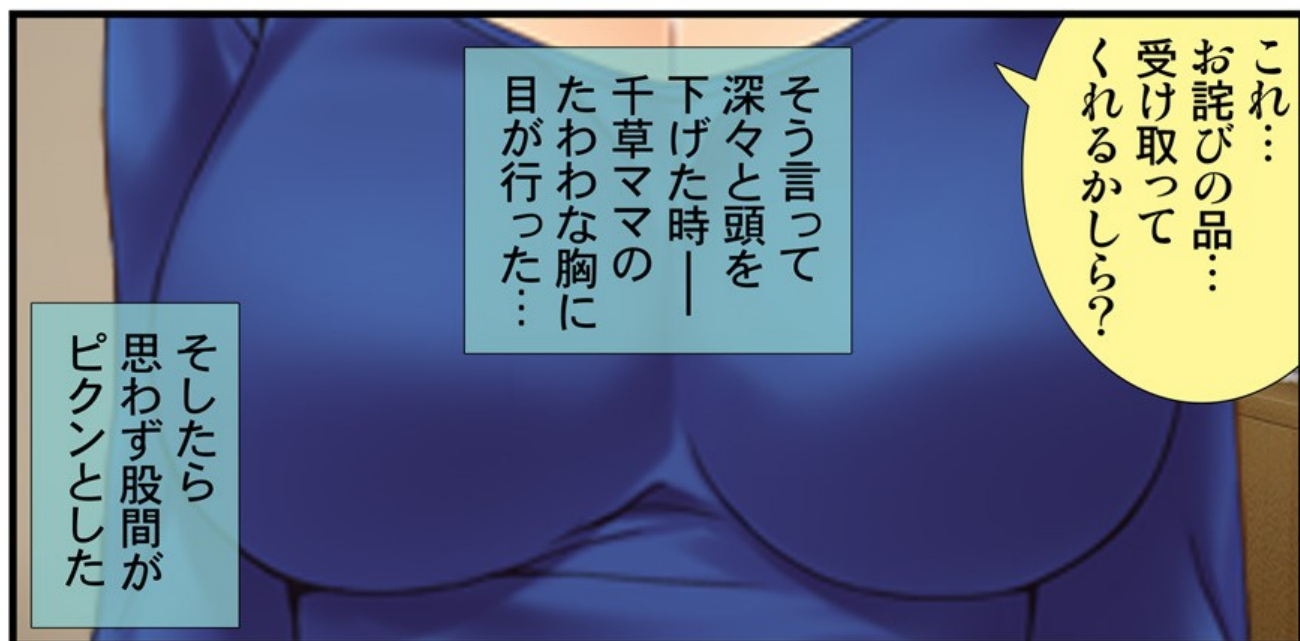




ちようど
よかった…
改めてお詫び
しますね？

ウチのおーちゃんが
バカなこととして
本当に
ごめんなさい

二度とあんなマネは
しないように
キツくしかったので
許して下さいね？



これ…
お詫びの品…
受け取って
くれるかしら？

そう言って
深々と頭を
下げた時—
千草ママの
たわわな胸に
目が行った…

そしたら
思わず股間が
ピクンとした

その時
ふと思った――

そうだ…
今がチャンスなんじゃ
ないかって…



この間
二人のママと
別れた後

二人でいた時は
にぎやかで
良かったけど
一人になったら
急に寂しくなって…



もう一人で
いることに
耐えられないかも
しれない…

二人のママが居ても
全然足りない…
もっとママが欲しいって…

自分ではイマイチまだ
信じられないけど

このチ○ポなら
ひよっとするともっと
ママを増やせるんじゃない
かって…

そして今後
チャンスがあれば
ママを増やす
努力をしてみようって
決めたんだ

そして今が
その時なんじゃ
ないかと…

やってやる!!

目の前の
音羽千草を
ボクのママに
変えてやるんだ!!

そう決めたボクは
何とか理由をつけて
部屋へ上がってもらった

さて…
どうしよう…？

ちょっと
おっとりして
優しいような
人だけど…

今…お茶
入れますね…

おかまいなく…

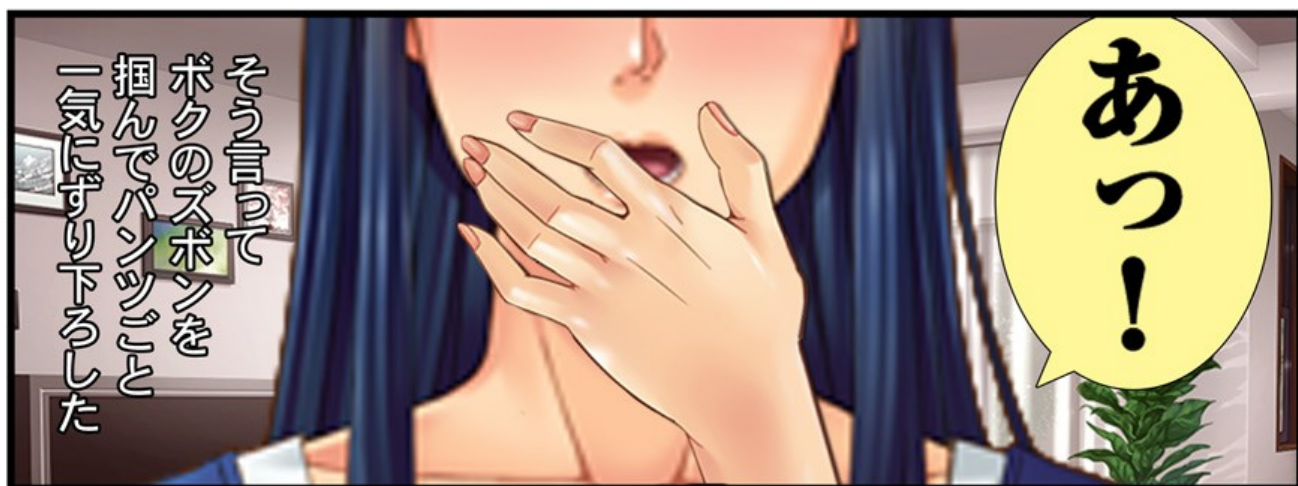
…よし
少しベタだけど
こいつを
ズボンの股間に
こぼして…

果たして
うまくママに
できるだろうか…

こんなことは初めてで
ドキドキしていた…







あつ！

そう言っ
て
ボクのズボン
を
掴んでパンツごと
一気にずり下ろした



お…大きい
真ちゃんの
オチ○ポ…

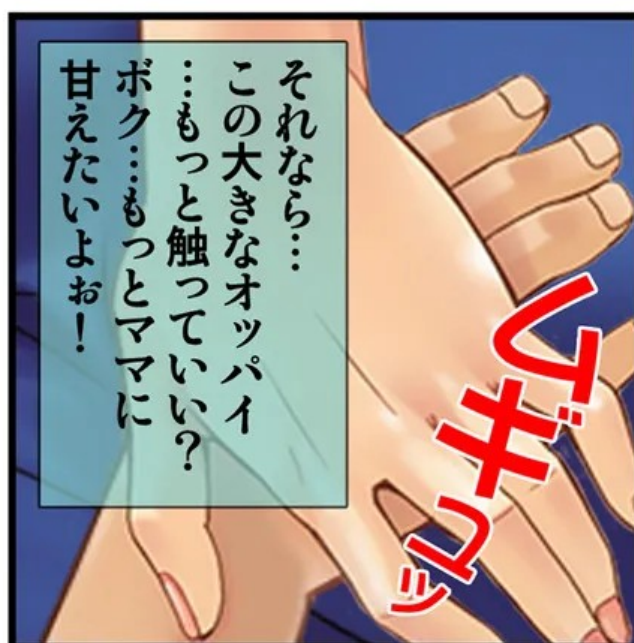
わざと股間に
お湯をこぼして
チ○ポを
見せつけようと
思っていた矢先
本当のハプニングが
起きてしまった！

形はまだ
可愛い…
オチ○ポ
なのに

思いもよらない
千草ママの早業に
ボクは反射的に
チ○ポを手で
隠そうとしたが…

千草ママに
チ○ポをガン見されますます
大きくなってしまった…















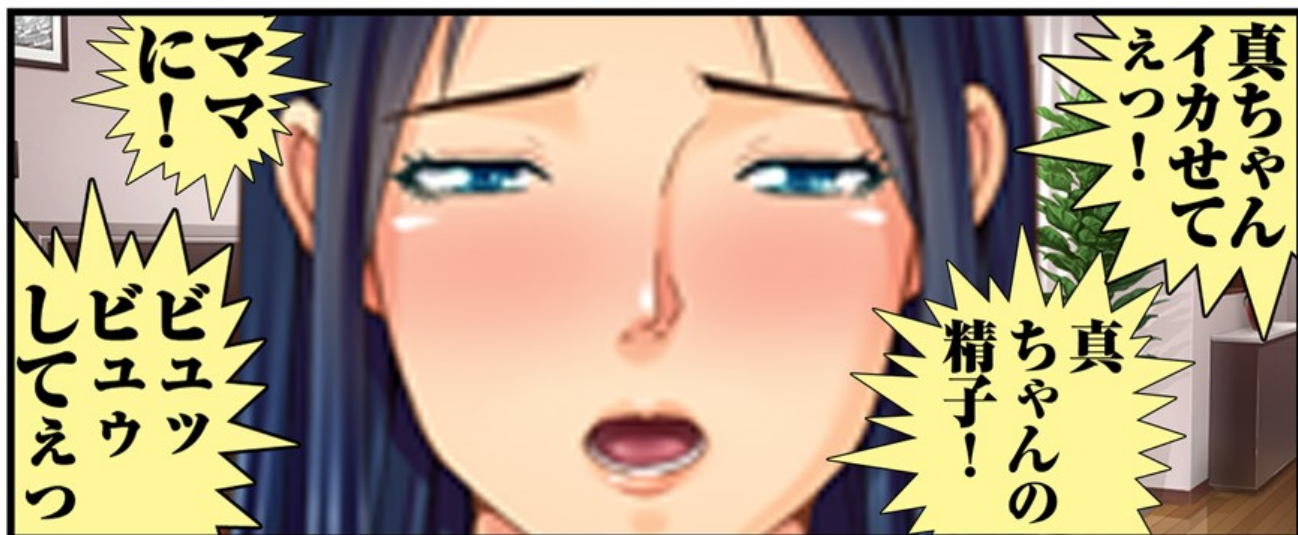




ママにっ！
精子ーっ！
中出し
してえっ！

ママっ！孕んで
ボクのチ○ポ
ミルクでっ！

欲しがってる
のおおっ！



ママ
にっ！

ビュッ
ビュウ
してえっ

真ちゃん
イカせて
えっ！

真
ちゃんの
精子！



真ちゃん
やだあ…

このオチ○ポ
まだ…治療が
必要ね！

オチ○ポ好きの
第三のママ…
音羽千草

でも…ボクには
もっとママが
必要だ！

